

# I うるおいとやすらぎのあるまち ←目指す区のすがた

A グループ：秋葉 一夫、古田 二郎、小合 三美、新津 四子、古津 五郎

## 目指す区の方向性

③この分野での目指す区の方向性をとりまとめ、各班から発表

- 将来的に××が△△となるような○○を□□していきたい。
- ... と◆◆の調和を図るため、××と○○を行っていく。

## これまでの取り組み評価

### プラスの評価

### マイナスの評価

### ①里山の保全と活用 ←目指す区のすがた実現に向けた取り組み

①現状把握シートを参考に、これまでの取り組みの振り返りを行う

- 里山を知らない人が多い。
- 里山活動について、○○が足りない。

## 今後の方向性

- 里山がより多くの市民に活用してもらえよう、一層の周知を行う案していく。

②-1 取り組みの振り返りを基に、今後の方向性について考える

### ②川を活かした親水空間の有効活用

- 阿賀野川水辺プラザが非常ににぎわっている
- 新津川沿いの遊歩道の雰囲気がいよ。今後も残してほしい。
- 地域のクリーン作戦は、自治会の一体感が生まれるため、非常にいいイベントである。

- 新津川遊歩道は、能代分流公園までの間に休憩のためのベンチ・トイレ(簡易)がない。
- 新津川の遊歩道の街灯が消えたまま、いつまでも放置されている。アフターケアをしっかりとってほしい。
- フェスティバルが○○しているのではないかな。

## 今後の方向性

- 新津の遊歩道を○○の○○として周知していく
- 秋葉区は信濃川、阿賀野川など大河に囲まれている。輪

②-2 取り組みの振り返りを基に、今後の方向性について考える

### ③人と自然が調和した美しい景観のまちの保全

- △△が非常に衛生的である。

- ××対策に問題あり。

## 今後の方向性

- ××がすぐに見学できるのは日本で秋葉だけであること

②-3 取り組みの振り返りを基に、今後の方向性について考える